

第五期基本構想・長期計画策定委員会 傍聴者意見提出シート

提出日 平成 22 年 11 月 29 日

氏名	[REDACTED]
住所	境南町 [REDACTED]
意見	<p>策定委員の皆様、市職員の皆様、真摯な議論をありがとうございました。次回委員会に向け、意見を述べさせていただきます。</p> <p>1. コミュニティについて</p> <p>武蔵野市では、コミュニティ構想に示された自主の原則をベースにコミュニティ活動が続けられてきました。それはすばらしいビジョンであり、そこから自主・自治の気風が醸成されてきたと思います。</p> <p>しかし同時に、各コミュニティはさまざまな課題を抱えておられるように思います。「コミュニティを支える人材・後継者不足」「活動の多様化」「コミュニティの貸借業化」などは、先の第6回コミュニティ市民委員会での議論・ヒアリングの中でも語られていたように思います。</p> <p>このように状況の中で、私が「コミュニティの課題」と考えることは以下のようになります。</p> <p>1) 目は、現在のコミュニティの課題については、各コミュニティ協議会を改めるとして取り組む。具体的にはまずこれについて市と協議・実行することです。例えば、上記のような課題についてはコミュニティ・コーディネーターを委嘱し、取り組みを活性化することが考えられます。(裏面へ)</p>

※策定委員会終了後、事務局(企画調整課)にご提出ください。FAX、メールでの提出も可能です(FAX:0422-51-5638 メールアドレス:sec-kikaku@city.musashino.lg.jp)

※ご意見は、策定委員会策定委員に傍聴者意見として紹介します。なお、ご意見に対する個別の回答はいたしかねますので、ご了承願います。

※ご意見は策定委員会事務局で保管し、第五期基本構想・長期計画策定委員会以外の目的では使用いたしません。

(この点については、むしろヒューマン・ネットワークセンターや市民協働サロンが参考になると思います)。この際に重要なことは、コミュニティの側の主体性を尊重することだと思います。この場合の課題は、コミュニティの現状に応じて個別的に異なります。

2つ目は、市として、全市のコミュニティに共通する課題を抽出し、その課題に取り組む活動に対して積極的に支援を行なうことなどです。コミュニティに共通の課題は、高齢者子育て・隣近所をつなぐ・商店街の活性化・防災・防犯等多岐にわたりますが、市として課題を整理・提案し、協働と共助の考え方をベースに、コミュニティ施策を組むことはどうかと考えます。この際、コミュニティの中で行なわれている小規模な活動を支援するか、「小規模分散」という視点と取り組みを重視していただくかがどうかと考えます。

3つ目は、コミュニティへの入り口について、工夫を怠らないかということなどです。具体的には、武蔵野市に転入される方に「コミュニティにおいで！」と、たしかりを配り、まず一度は地域のコミュニティセンターに顔を出してもらうようにすること。しかりには、地域生活の困りごとや、地域で行なわれている活動についての窓口を紹介があり、また、コミュニティセンターには、転入者に対処する担当者を用意すること（曜日を決めて、市の職員が「駐在」してもいいかも知れません）。このように、新しく入ってくる人をコミュニティに「なぐ」工夫が重要だと思います。

2. 市職員について

職員については、計画の中では「定数削減」や「効率的な業務分担」などが語られることが多いと思いますが、今後は、「働きやすさ」、「やりがい」、「メンタルヘルス」なども課題だと考えます。

「働きやすさ」については、平成21年12月にまとめた「働き方の見直しに関する職員アンケート調査-第1巻-」では、部分休業取得希望が37.2%、自由意見で、フレックスタイム制の導入を求めている意見が11つもありました。ワーク・ライフ・バランスの観点、かきも、育児短時間勤務とフレックスタイム制の導入を検討するのがよいと考えます。

「やりがい」については、例えば「15年間勤務した」という次の5年間には本人の希望する部署で力を発揮できるとい、たい組織、或いは本人の希望するプロジェクト・チームに参加できるとい、たい組織を設けてはどうかとします。

武蔵野市の統計によれば、この数年長期休職者が増加してきています。これはメンタルヘルスの課題だと思われたいです。これに対しては、一部企業で導入されているメンター制が効果的なのではないかと考えます。また、メンター制は増加している女性職員のキャリア形成にも役に立つ面があるのではないかと考えます。

ご検討下さい。よろしくお願ひ致します。